

# 昭和63年茨城県農業基本調査の概要(速報)

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

茨城県統計調査条例(昭和36年茨城県条例第36号)及び茨城県農業基本調査規則に基づき、本県農業の実態を把握し、農業経営の改善と農林行政施策を推進していくための基礎資料とすることを目的としている。

### 2. 調査の期日

昭和63年2月1日

### 3. 調査の範囲

この調査は、昭和63年2月1日現在で、県内に所在する農林事業体(農家及び農家以外の農業事業体)を対象とする。

### 4. その他

調査結果の詳細については、後日「茨城の農業」として公表します。

## II. 結果の概要

### 1. 農家数

#### (1) 農家数〔農家数2.3%減少〕

昭和63年2月1日現在の本県の農家数は158,905戸で、前回(昭和61年調査)と比べ、3,682戸(△2.3%)減少した。(表-1)

また、農家率(総世帯数に占める農家世帯の割合)も前回と比べ1.2ポイント低下し、20.2%である。(表-1, 表-2)

#### (2) 専業兼業別農家数

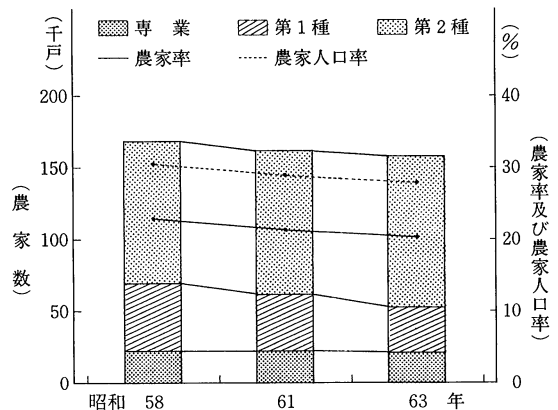
〔第2種兼業農家4,602戸増加〕

農家を専業兼業別にみると、専業は22,030戸で、

前回(昭和61年調査)と比べ、729戸(△3.2%)減少し、総農家数に占める割合も0.1ポイント低下し、13.9%となった。

一方兼業は、農業を主とする第1種兼業が32,244戸(構成比20.3%)で、前回と比べ7,555戸(△19.0%)と大幅に減少し、総農家数に占める割合で4.2ポイント低下して20.3%となった。また、農業を従とする第2種兼業農家は、前回と比べ4,602戸(4.6%)増加して104,631戸となっており、総農家数の65.8%を占めている。(表-2, 図-1)

図-1 専業別農家数及び農家率、農家人口率の推移



#### (3) 兼業種類別農家数

〔雇われ兼業が84.4%を占める〕

兼業農家136,875戸について、家としての主な兼業種類別農家数をみると、雇われ兼業農家は115,481戸(構成比84.4%)、自営兼業農家は21,394戸(同15.6%)で前回(昭和61年調査)に比べ、その構成比で雇われ兼業農家が0.1ポイント上昇し、自営兼業農家が0.1ポイント低下した。

次に、兼業農家の主な種類別構成をみると「工員・店員・運転手など」が58,147戸(構成比42.5%)と最も多く、次いで「事務・技術・教職員など」

表一 1 総農家数及び専兼別農家数

(単位：戸，%)

区 分	農 家 数	専 業	兼 業			
			計	第 1 種兼業	第 2 種兼業	
昭 和 年	58	167 435	22 502	144 933	46 738	98 195
	61	162 587	22 759	139 828	39 799	100 029
	63	158 905	22 030	136 875	32 244	104 631
増減数	58 ~ 61	△ 4 848	257	△ 5 105	△ 6 939	1 834
	61 ~ 63	△ 3 682	△ 729	△ 2 953	△ 7 555	4 602
増減率	58 ~ 61	△ 2.9	1.1	△ 3.5	△ 14.8	1.9
	61 ~ 63	△ 2.3	△ 3.2	△ 2.1	△ 19.0	4.6
構 成 比	58	100.0	13.4	86.6	27.9	58.7
	61	100.0	14.0	86.0	24.5	61.5
	63	100.0	13.9	86.1	20.3	65.8

表一 2 総世帯数及び農家率

(単位：戸，%)

区 分	総世帯数 ①	総農家数 ②	農家率 ②/①	
実 数	昭和58年	726 693	167 435	23.0
	61	760 642	162 587	21.4
	63	786 309	158 905	20.2

(注) 総世帯数は、各年の2月1日現在の茨城県常住人口調査による。

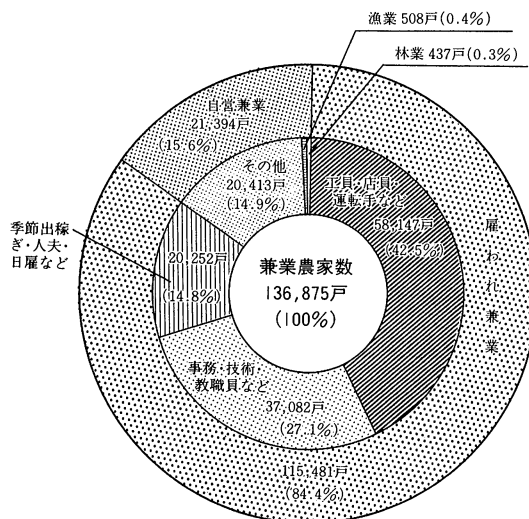
また、第2種兼業における自営兼業農家は、18,749戸(構成比17.9%)で第1種兼業のそれと比べ実数で16,104戸多くなっており、その構成比で2倍以上である。(表一3、図一2)

の37,082戸(同27.1%)、「季節出稼ぎ・人夫・日雇など」の20,252戸(同14.8%)の順である。

また、兼業農家のうち、第1種兼業農家では、雇われ兼業農家が29,599戸で91.8%を占め、兼業の種類別構成では「工具・店員・運転手など」が11,719戸(構成比36.3%)、次いで「事務・技術・教職員など」の10,080戸(同31.3%)、「季節出稼ぎ・人夫・日雇など」の7,800戸(同24.2%)の順である。

第2種兼業農家においても雇われ兼業が85,882戸(構成比82.1%)を占めており、兼業の種類別構成では、第1種兼業に比べ「工具・店員・運転手など」の構成比が8.1ポイント高くなっており、「季節出稼ぎ・人夫・日雇など」が12.3ポイント低下している。

図一 2 兼業種類別農家数



# ■ 調査から

表一三 家として主な兼業種類別農家数

(単位：戸，%)

区 分			総 数	雇 わ れ 兼 業				自 営 兼 業			
				計	事務・技術 教職員など	工員・店員 運転手など	季節出稼ぎ・ 人夫・日雇 ど	計	林 業	漁 業	その他
昭 和 58 年			144 933	122 129	36 625	59 310	26 194	22 804	608	805	21 391
61			139 828	117 819	37 726	59 859	20 234	22 009	542	615	20 852
63			136 875	115 481	37 082	58 147	20 252	21 394	437	508	20 413
総 数	増 減 数	58~61	△5 105	△4 310	1 101	549	△5 960	△ 795	△ 66	△ 190	△ 539
		61~63	△2 953	△2 338	△ 644	△1 712	18	△ 615	△ 69	△ 107	△ 439
	増 減 率	58~61	△ 3.5	△ 3.5	3.0	0.9	△ 22.8	△ 3.5	△ 10.9	△ 23.6	△ 2.5
		61~63	△ 2.1	△ 2.0	△ 1.7	△ 2.9	0.1	△ 2.8	△ 12.7	△ 17.4	△ 2.1
構 成 比	58	100.0	84.3	25.3	40.9	18.1	15.7	0.4	0.5	14.8	
	61	100.0	84.3	27.0	42.8	14.5	15.7	0.4	0.4	14.9	
	63	100.0	84.4	27.1	42.5	14.8	15.6	0.3	0.4	14.9	
第 一 種 兼 業	実 数	58	46 738	42 685	12 231	16 810	13 644	4 053	338	268	3 447
		61	39 799	36 296	11 739	15 014	9 543	3 503	297	207	2 999
		63	32 244	29 599	10 080	11 719	7 800	2 645	195	126	2 324
	構 成 比	58	100.0	91.3	26.2	35.9	29.2	8.7	0.7	0.6	7.4
		61	100.0	91.2	29.5	37.7	24.0	8.8	0.7	0.5	7.5
		63	100.0	91.8	31.3	36.3	24.2	8.2	0.6	0.4	7.2
第 二 種 兼 業	実 数	58	98 195	79 444	24 394	42 500	12 500	18 751	270	537	17 944
		61	100 029	81 523	25 987	44 845	10 691	18 506	245	408	17 853
		63	104 631	85 882	27 002	46 428	12 452	18 749	278	382	18 089
	構 成 比	58	100.0	80.9	24.8	43.3	12.8	19.1	0.3	0.5	18.3
		61	100.0	81.5	26.0	44.8	10.7	18.5	0.2	0.4	17.8
		63	100.0	82.1	25.8	44.4	11.9	17.9	0.3	0.3	17.3

#### (4) 経営耕地面積規模別農家数

##### 〔増加する大規模農家〕

農家数を経営耕地面積規模別にみると、前回(昭和61年調査)同様1.0ha以上～1.5ha未満層が30,975戸(構成比19.5%)で最も多く、次いで0.7ha以上～1.0ha未満層が24,154戸(同15.4%)となっており、この2つの層で総農家数の34.7%を占めている。

また、0.1ha以上～3.0ha未満層の農家数が減少

しているのに対し、3.0ha以上の農家数が前回と比べ430戸(9.9%)増加しており、引き続き経営規模は拡大傾向にある。(表一4、図一3)

#### (5) 農産物販売金額規模別農家数

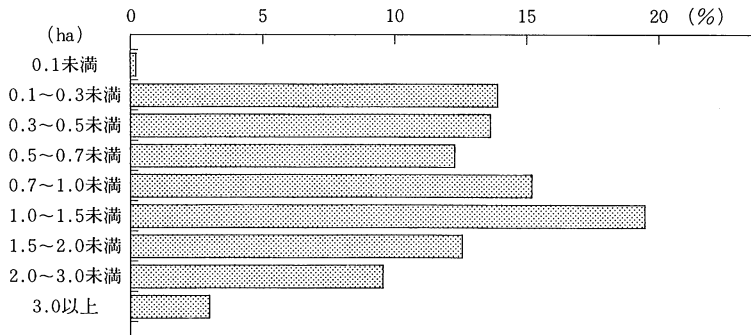
農家数を農産物販売金額規模別にみると、最も多いのが10万円以上～50万円未満層の32,957戸(構成比20.7%)で、次いで50万円以上～100万円未満層の23,625戸(同14.9%)、「販売なし」層の23,095

表一四 経営耕地面積規模別農家数

(単位：戸，%)

区分	総数	0.1ha未満 (例外規定を含む)	0.1～ 0.3ha未満	0.3～ 0.5ha未満	0.5～ 0.7ha未満	0.7～ 1.0ha未満	1.0～ 1.5ha未満	1.5～ 2.0ha未満	2.0～ 3.0ha未満	3.0ha以上	
昭和58年	167 435	227	21 858	22 424	20 126	25 685	34 656	22 605	16 199	3 655	
61	162 587	253	22 344	22 060	19 736	24 555	32 480	21 023	15 803	4 333	
63	158 905	267	22 116	21 759	19 596	24 154	30 975	19 947	15 328	4 763	
増減数	58～61	△4 848	26	486	△ 364	△ 390	△1 130	△2 176	△1 582	△ 396	678
	61～63	△3 682	14	△ 228	△ 301	△ 140	△ 401	△1 505	△1 076	△ 475	430
増減率	58～61	△ 2.9	11.5	2.2	△ 1.6	△ 1.9	△ 4.4	△ 6.3	△ 7.0	△ 2.4	18.5
	61～63	△ 2.3	5.5	△ 1.0	△ 1.4	△ 0.7	△ 1.6	△ 4.6	△ 5.1	△ 3.0	9.9
構成比	58	100.0	0.1	13.1	13.4	12.0	15.3	20.7	13.5	9.7	2.2
	61	100.0	0.2	13.7	13.6	12.1	15.1	20.0	12.9	9.7	2.7
	63	100.0	0.2	13.9	13.7	12.3	15.2	19.5	12.6	9.6	3.0

図一三 経営耕地面積規模別農家数



戸(同14.5%)の順になっており、販売金額100万円未満の各層をあわせると総農家数の59%となり、農家の半数以上が100万円未満または、「販売金額なし」の層である。

なお、販売金額が300万円以上の農家数は23,310戸(構成比14.7%)である。(表一五)

表一五 農産物販売金額規模別農家数

(単位：戸，%)

区分	総数	販売なし	10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～300万円未満
実数 昭和63年	158 905	23 095	14 068	32 952	23 625	16 449	12 471	12 935
構成比 63	100.0	14.5	8.9	20.7	14.9	10.4	7.8	8.1

区分	300万円未満小計	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	300万円以上小計
実数 昭和63年	135 595	11 206	5 388	3 378	1 760	1 578	23 310
構成比 63	85.3	7.1	3.4	2.1	1.1	1.0	14.7

## 2. 農家人口〔農家人口2.4%減少〕

農家人口は、764,708人で前回(昭和61年調査)と比べ18,566人(△2.4%)減少しており、農家人口率(総人口に占める農家人口の割合)は1.2ポイント低下して27.5%である。

これを男女別にみると、男子が377,768人、女子が386,940人で女子が男子より9,172人多い。

また、農家1戸当たりの平均世帯員は4.8人で前回と同じである。(表一6)

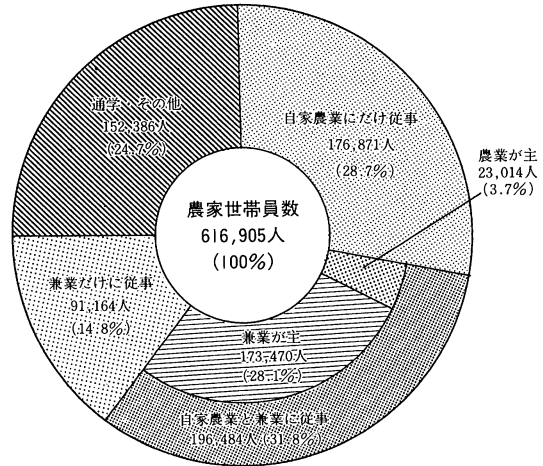
## 3. 農家世帯員の就業人口

〔「農業が主」大幅減少〕

満16歳以上の農家世帯員は、616,905人で、前回(昭和61年調査)と比べ、12,152人(△1.9%)減少した。このうち「自家農業だけに従事した人」が3,678人、「自家農業と兼業に従事し、農業が主な人」が4,738人それぞれ減少しており、これらを合すると減少数(12,152人)の69.3%を占めている。

農家世帯員のふだんの主な就業状態をみると、「自家農業にだけ従事した人」は176,871人(構成比28.7%)で最も多く、次いで「自家農業と兼業に従事し、兼業が主な人」が173,470人(同28.1%)、「通学・その他」が152,386人(同24.7%)、「兼業だけに従事した人」が91,164人(同14.8%)、「自家農

図一4 農家世帯員の就業状態の割合



業と兼業に従事し、農業が主な人」が23,014人(同3.7%)の順である。

また、就業人口の構成比を男女別にみると、男子は「兼業が主な人」が39.2%(118,580人)で最も高く、次いで「自家農業にだけ従事した人」が24.0%(72,473人)、「通学・その他」が16.4%(49,505人)、「兼業だけに従事した人」15.6%(47,034人)の順になっており、女子は「自家農業にだけ従事した人」が33.2%(104,398人)、次いで「通学・その他」32.7%(102,881人)、「兼業が主な人」が17.4%(54,890人)の順である。

(表一7, 図一4)

表一6 農家人口

(単位:人,%)

区分	総人口①	農家人口②			農家人口率②/①	農家1戸当たり世帯員数
		計	男	女		
昭和58年	2 643 394	805 623	397 313	408 310	30.5	4.8
61	2 732 231	783 274	386 751	396 523	28.7	4.8
63	2 778 921	764 708	377 768	386 940	27.5	4.8

(注) 総人口は、各年の2月1日現在の茨城県常住人口調査による。

表一七 満16歳以上の就業状態別世帯員数

(単位：人，%)

区 分		総 数	自家農業 にだけ従 事した人	自家農業と兼業に従事した人		兼業だけに 従事した人	通学・その他	
				農業が主	兼業が主			
総 数	昭 和 58 年	647 606	186 951	36 820	170 278	96 727	156 830	
	61	629 057	180 549	27 752	175 050	91 345	154 361	
	63	616 905	176 871	23 014	173 470	91 164	152 386	
	増 減 数	58 ~ 61	△18 549	△6 402	△9 068	4 772	△5 382	△2 469
		61 ~ 63	△12 152	△3 678	△4 738	△1 580	△ 181	△1 975
	増 減 率	58 ~ 61	△ 2.9	△ 3.4	△ 24.6	2.8	△ 5.6	△ 1.6
61 ~ 63		△ 1.9	△ 2.0	△ 17.1	△ 0.9	△ 0.2	△ 1.3	
構 成 比	58	100.0	28.9	5.7	26.3	14.9	24.2	
	61	100.0	28.7	4.4	27.8	14.5	24.5	
	63	100.0	28.7	3.7	28.1	14.8	24.7	
男	58	316 513	72 846	23 602	116 853	51 733	51 479	
	61	307 837	73 425	17 700	119 680	47 100	49 932	
	63	302 158	72 473	14 566	118 580	47 034	49 505	
女	58	331 093	114 105	13 218	53 425	44 994	105 351	
	61	321 220	107 124	10 052	55 370	44 245	104 429	
	63	314 747	104 398	8 448	54 890	44 130	102 881	
構 成 比	男	58	100.0	23.0	7.5	36.9	16.3	16.3
		61	100.0	23.9	5.7	38.9	15.3	16.2
		63	100.0	24.0	4.8	39.2	15.6	16.4
	女	58	100.0	34.5	4.0	16.1	13.6	31.8
		61	100.0	33.3	3.1	17.2	13.8	32.5
		63	100.0	33.2	2.7	17.4	14.0	32.7

#### 4. 農業従事者

〔農業従事者の56.6%が50歳以上〕

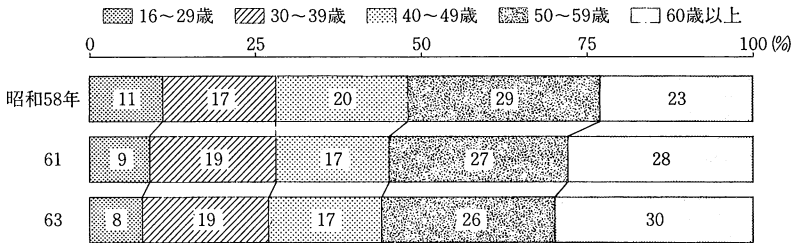
##### (1) 従事日数別農業従事者数

調査期日前1年間(昭和62年2月1日から昭和63年1月31日まで)に自家農業に従事した人(農業従事者)は、409,222人で前回(昭和61年調査)と比

べ11,628人減少した。

農業従事者を従事日数別にみると、「1～29日」が123,737人(構成比30.2%)、「30～59日」が76,117人(同18.6%)、「60～149日」が92,712人(同22.7%)、「150日以上」が116,656人(同28.5%)であり、年間60日以上農業従事者が209,368人となっており農業従事者の51.2%を占めている。

図一五 年齢別農業従事者の推移



表一八 農業従事者 (従事日数別)

(単位: 人, %)

区分	総数	1~29日	30~59日	60~149日	150日以上
昭和58年	428 107	115 130	88 150	79 009	145 818
61	420 850	124 588	75 981	95 640	124 641
63	409 222	123 737	76 117	92 712	116 656
増減数					
58~61	△7 257	9 458	△12 169	16 631	△21 177
61~63	△11 628	△ 851	136	△2 928	△7 985
増減率					
58~61	△ 1.7	8.2	△ 13.8	21.0	△ 14.5
61~63	△ 2.8	△ 0.7	0.2	△ 3.1	△ 6.4
構成比					
58	100.0	26.9	20.6	18.4	34.1
61	100.0	29.6	18.1	22.7	29.6
63	100.0	30.2	18.6	22.7	28.5

表一九 農業従事者 (年齢別)

(単位: 人, %)

区分	総数	16~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
昭和58年	428 107	46 581	74 464	85 142	122 253	99 667
61	420 850	38 939	80 593	71 701	112 875	116 742
63	409 222	32 812	76 411	68 541	104 950	126 508
増減数						
58~61	△7 257	△7 642	6 129	△13 441	△9 378	17 075
61~63	△11 628	△6 127	△4 182	△3 160	△7 925	9 766
増減率						
58~61	△ 1.7	△ 16.4	8.2	△ 15.8	△ 7.7	17.1
61~63	△ 2.8	△ 15.7	△ 5.2	△ 4.4	△ 7.0	8.4
構成比						
58	100.0	10.9	17.4	19.9	28.5	23.3
61	100.0	9.3	19.2	17.0	26.8	27.7
63	100.0	8.0	18.6	16.8	25.7	30.9

なお、前回と比べ「30~59日」層が136人(0.2%)増加しているほかは各層とも減少しており、特に「150日以上」従事層が7,985人(△6.4%)減少した。

(表一八)

(2) 年齢別農業従事者数

農業従事者409,222人を年齢別にみると「16~29歳」が32,812人(構成比8.0%),「30~39歳」が76,411人(同18.6%),「40~49歳」が68,514人(同16.8%),「50~59歳」が104,950人(同25.7%),「60歳以上」が126,508人(同30.9%)であり、50歳以上の農業従事者は231,458人となり、その56.6%を占めている。

また、前回と比べ「60歳以上」が9,766人(8.4%)増加しており農業従事者の高齢化が進んでいる。(表一九、図一五)

表一10 あとつぎ予定者

(単位：戸、人、%)

区 分	農 家 数	あとつぎ 予 定 者 の 在 居 農 家 数		男子あとつぎ予定者の就業状況						
		総農家 に対する 割合	計	自家農業 だけに従 事した人	自家農業と兼業 に従事した人		兼業だけ に従事 した人	通学・ その他 など		
					農業が主	兼業が主				
昭 和 58 年	167 435	107 745	64.4	94 273	9 255	3 318	41 324	28 172	12 204	
61	162 587	101 289	62.3	89 363	7 949	1 885	41 780	26 310	11 439	
63	158 905	94 425	59.4	83 081	6 400	1 405	38 388	25 639	11 249	
増 減 数	58～61	△4 848	△6 456	/	△4 910	△1 306	△1 433	456	△1 862	△ 765
	61～63	△3 682	△6 864	/	△6 282	△1 549	△ 480	△3 392	△ 671	△ 190
増 減 率	58～61	△ 2.9	△ 6.0	/	△ 5.2	△ 14.1	△ 43.2	1.1	△ 6.6	△ 6.3
	61～63	△ 2.3	△ 6.8	/	△ 7.0	△ 19.5	△ 25.5	△ 8.1	△ 2.6	△ 1.7
構 成 比	58	/	/	/	100.0	9.8	3.5	43.8	29.9	13.0
	61	/	/	/	100.0	8.9	2.1	46.8	29.4	12.8
	63	/	/	/	100.0	7.7	1.7	46.2	30.9	13.5

### 5. あとつぎ予定者

〔主として自家農業に従事した  
男子あとつぎ予定者は9.4%〕

#### (1) あとつぎ予定者のいる農家数

あとつぎ予定者のいる農家数は94,425戸で総農家数の59.4%になっているが、前回(昭和61年調査)と比べ6,864戸(△6.8%)減少した。(表一10)

#### (2) 男子あとつぎ予定者の就業状況

男子あとつぎ予定者83,081人を就業状況別にみると、「自家農業にだけ従事した人」は6,400人(構成比7.7%)、自家農業と兼業に従事した人のうち「農業が主」な人は1,405人(同1.7%)で、合せて7,805人となり、男子あとつぎ予定者の9.4%にすぎない。

一方、自家農業以外の仕事に従事した人は、「兼業が主」な人は38,388人(構成比46.2%)、「兼業

だけに従事した人」は25,639人(同30.9%)の合せて64,027人となり、男子あとつぎ予定者の77.1%を占めている。(表一10)

### 6. 経営耕地面積

〔1戸当たりの面積は引き続き増加〕

経営耕地面積は171,061haで、地目別にみると、田が100,785ha(構成比58.9%)、畑が58,769ha(同34.4%)、樹園地が11,507ha(同6.7%)である。これを前回(昭和61年調査)と比べると、経営耕地面積全体で3,148ha(△1.8%)減少しており、その内訳は、田が1,480ha(△1.4%)、畑が764ha(△1.3%)、樹園地が904ha(△7.3%)である。

なお、農家1戸当たりの経営耕地面積は、前回より0.5a増加して107.6aとなった。

(統計課・農林経済グループ)